



図書館員が選ぶ この一冊

20

『特捜部Q-檻の中の女-』早川書房
ユッシ・エズラ・オールスン／著 吉田奈保子／訳

コペンハーゲン警察本部殺人捜査課勤務のカールは優秀な捜査官だが、不可解な事件で部下を失い、自身も重傷を負う。復職後、新設部署に追いやられ、未解決事件専門捜査につく。手始めに新しい部下アサドと自殺で処理された女性議員の失踪事件を調べ始めたカールの前に、驚きの事実が次々と浮かび上がる。



本書はデンマークの警察小説“特捜部Q”シリーズの1作目。独特の雰囲気を持つ北欧ミステリーの先駆けとも言える傑作で、読めば読むほど交錯する謎に翻弄^{ほんろう}される。シリーズ通して映画化され、世界各国にファンも多い。